

平成27年度

行政評価外部評価報告書

平成28年1月

鯖江市行政評価委員会

鯖江市長 牧野 百男 様

鯖江市の事務事業について、鯖江市行政評価委員会による評価を実施し、このたび本報告書を取りまとめましたので報告いたします。

平成28年1月13日

鯖江市行政評価委員会

委員長	武井 幸久
副委員長	井上 武史
委員	齋藤 英子
委員	鈴木 早苗
委員	園 昇
委員	高田健一郎
委員	細田 逸子

－ 目次 －

1	はじめに	1
2	評価対象	1
3	評価手順	1
4	評価結果	1
5	評価対象事業および評価結果一覧	2
6	総括	3
7	おわりに	4
＜個別評価結果＞		
	個別評価票の見方	7
	公民館合宿通学事業	9
	やしきまつり事業交付金	11
	男女共同参画推進大会（フェスタ）開催事業	13
	さばえ菜花まつり開催事業	15
	日野川砂礫河原再生事業	17
	2K540鯖江ものづくりいいもの見本市	19
＜資料編＞		
	鯖江市行政評価委員会の開催経過	22
	鯖江市行政評価委員会委員名簿	22
	鯖江市行政評価委員会設置要綱	23

1 はじめに

第5次鯖江市総合計画がスタートして5年が経過し、計画期間を2年延長する改訂版が策定され、計画に基づきさまざまな施策が取り組まれています。平成26年度の実行状況については、行政による内部評価が行われたところであり、この度、その内部評価が、市民の目線・生活者の視点に立って行われているかを検証し、評価の透明性をより高めるために、学識経験者、総合計画審議会委員、市民主役条例推進委員会委員など7名の委員で構成された「鯖江市行政評価委員会」を設置して、第三者の視点による外部評価を実施しました。

なお、具体的な評価作業については公開で実施しました。

2 評価対象

鯖江市行政評価委員会が行う外部評価の対象は、鯖江市が実施した「事務事業評価」としました。ただし、行政評価対象の527の事務事業すべてを対象に外部評価を行うことは、限られた時間と労力の点から困難な面もあります。そこで、今回は「イベント事業」にスポットを当て、イベント事業に該当する36事業の中から、第5次鯖江市総合計画の基本目標各章に基づき抽出し、6事業を選択しました。

3 評価手順

- ① 評価する事務事業を選択しました。
 - ・ 委員会で、評価対象事務事業を選択
- ② 選択した事務事業について、個別の評価を実施しました。
 - ・ 事務事業評価調書に基づき、担当課へのヒアリング実施
 - ・ 質疑応答と討論を踏まえ、方向性などを評価
(「事務改善」、「内容拡大」、「内容縮小」、「廃止・休止」、「維持」の5区分)
- ③ 評価結果の比較や行政評価システムのあり方などについて意見交換を行いました。
- ④ 最後に、外部評価についての総括を行いました。

4 評価結果

評価を行った6事務事業の方向性についての評価結果は、「事務改善」とした事業が2事業、「内容拡大」とした事業が1事業、「維持」とした事業が3事業となりました。
(内部評価との比較は右記の表のとおり)

【抽出事務事業の評価結果比較表】

方向性	内部評価	外部評価
事務改善	0	2
内容拡大	0	1
維持	6	3

また、内部評価と外部評価の結果が異なったものは3事務事業となりました。

5 評価対象事業および評価結果一覧

No.	事業名	所管課	内部評価	外部評価
1	公民館合宿通学事業	生涯学習課	維持	維持
2	やしきまつり事業交付金	生涯学習課	維持	事務改善
3	男女共同参画推進大会（フェスタ）開催事業	女性活力・人権推進室	維持	維持
4	さばえ菜花まつり開催事業	農林政策課	維持	維持
5	日野川砂礫河原再生事業	土木課	維持	事務改善
6	2K540 鯖江ものづくりいいもの見本市	商工政策課	維持	内容拡大

※網掛けの事務事業は、内部評価と外部評価の結果に差異が生じたもの

6 総括

- (1) 事務事業評価に関しては、各事業の所管部署へのヒアリングを実施し、事業内容の理解を深めた上で評価を行いました。外部評価の対象として、行政評価対象の527事業の中から、イベント事業にスポットをあて36事業を抽出し、6事業を評価しました。内部評価と外部評価の結果が異なったものが3事業あり、内部評価の方向性が「維持」であったのが、外部評価の方向性で「事務改善」が2事業、「内容拡大」が1事業となりました。

イベント事業は、どういった目的で行うのか、誰をターゲットに行うのか、予算はいくらで行うのか、持続的に行うためにどういった工夫をすべきかといった、様々な要素を考慮することによって事業の効果が現れます。こうした視点でイベント内容を検証、改善することで、集客を増やし、市民満足度の向上に努めているイベントもあり、その点は評価されますが、ただ漫然と繰り返し行われているようなイベントも見受けられます。所管部署は、今一度、事業の目的達成に向けての再認識を図り、引き続き事業の改善、集客、広報周知に努めていただき、より効果のある事業にする取組みとなるよう、見直しをお願いします。

また、同じ評価結果の事業であっても、内部評価が市民の目線を十分に反映しているとは限りません。どの事業にも多くのコメントが寄せられましたので、評価結果に決して満足することなく、少しでも改善に向けて取り組むことが必要と考えます。

その他、具体的な件に関しては下記のとおりです。

〈評価票の内容について〉

①概要

イベントというと単年度の取組みとして評価されがちですが、市の特色が出ることで外からの注目も浴びやすいところでもありますので、長期的な戦略のもと行われる必要があります。また、イベントを盛り上げるために様々な要素を取り入れることは良いですが、事業を継続的に行うためにも先に潜むリスクを考え、時には専門家の意見を取り入れながら、事業を検証すべきと考えます。

②方向性

内部評価に準じて、「事務改善」、「内容拡大」、「内容縮小」、「廃止・休止」、「維持」の5区分で判断しましたが、単純にこの方向性だけで、評価として表現しきれなかったことについては、付帯意見として、個別事業の評価コメントを付記することとしました。方向性だけでなく、付帯意見にも十分な配慮をお願いします。

- (2) これまでの外部評価について、市民によって構成される外部評価委員においては、市民にとって馴染の薄い事業が評価の対象となることもあり、委員が意見を言いにくい点も多く存在しました。今回、市民に近い行政サービスとしてのイベント事業を対象としたことは、委員が最も意見を言いやすい環境であり、外部評価によってより適切な評価が出来たことについては評価します。
- (3) 市と行政評価委員会は、具体的な評価作業を公開で開催し、傍聴者に配慮し、会議を休日に開催したこと、また、SNS等を通じて情報発信に努めたことについては評価します。しかし、今回傍聴者がいませんでした。今後一層市民の関心を高め、多くの方に傍聴していただけるように、開催時期や広報の方法を工夫する必要があります。

7 おわりに

この外部評価は、市民に密着した、透明性の高い市政運営を推進するための取組みである行政評価の一翼を担うものであり、今年度で7回目となります。

この報告書は、各行政評価委員が「市民の目線・生活者の視点」にたち、第三者の立場から評価した結果としてまとめたものであります。また、個別の事務事業の評価結果については、整理して後述します。

外部評価結果は行政側の内部評価と差異が生じましたが、この結果を真摯に受け止め今後の市政運営に活かしていただくことを望みます。また、外部評価と内部評価に相違が発生することは、内部評価が必ずしも市民の立場に立って行われていない現状にあると考えます。内部評価を行う時点で、内部評価者も市民の目線、サービスを受ける者の目線で評価を行った上で、外部評価を行う必要があると考えます。

今回の評価結果を踏まえて、対象事業はもとより、今回対象となっていない事業も含めて、一層の「市民に密着した、透明性の高い市政運営」の推進に期待するところであります。

(頁調整のため余白)

個別評価結果

事務事業調書の見方

H26 の事業名称

平成27年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	公民館合宿通学事業	事業コード	2244
-----	-----------	-------	------

第 5 次鯖江市総合計画における体系

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	2041
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)	813	

PLAN(計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	様々な地域資源を活用して、放課後や週末等における子どもの活動支援や生活体験をととした地域の教育力の活性化を図る。				
	概要	地域の公民館に宿泊しながら、親元を離れて共同生活を行い、学校へ通うことにより、地域の人たちの協力により簡単な生活習慣の習得支援や地域住民との交流を深めるとともに、地域の教育力の向上を図る。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託(一部)	地域住民による地区実行委員会に業務を委託する。		

開始年度不明の場合は 0000
終了年度未定の場合は 9999

法令上、市職員が実施すべき根拠がある場合、根拠を掲載

現在の実施形態について、市直営や民間委託等から選択

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
	校長会への説明会議		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	1	1	1		
	学校への説明会議		回	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	10	9	9		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)		
	実施公民館数		館	目標値	10	10	10		
				実績値	9	9	8		
計算根拠	合宿通学事業を実施した公民館数		達成率(%)	90	90	80			
			ランク	B	B	B			
			実数値						

成果指標の目標値を達成するために行った活動の結果
※数値化できない場合は設定困難

事業費/千円	区分	H26(2014)	H27(2014)	事業委員	正規職員	0.25	会計タイプ	一般会計
	予算額	1,747	1,700		臨時・嘱託	0.5		補助(原)事業
	決算額	1,590			※所要時間			経費区分
	繰越額	0	0					

事業を実施して得られた成果の結果

達成率は目標値に対する実績値の割合
達成ランクはA:95%以上、B:80%以上~95%未満、C:80%未満
実数値は目標値・実績値が「%」表示の場合、分母分子(例:45/50)を入力

事業に従事する職員数を1年間の執務状況を換算して表示

[計算例]
2人の職員が1年の内2ヶ月間毎日、1日の半分の時間、当該事務事業の執務を行っている場合
 $2人 \times (2/12ヶ月) \times (1/2日) = 0.17人$
※人数で示せない場合に限り、所要時間で表示(例:45時間)

事務事業調書の見方

平成27年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK 評価	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	児童が家庭における基本的な生活習慣を習得することや協調性を学ぶ必要性に対する市民ニーズがある。	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で ずか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	公民館を会場として提供することや、夜間管理など市が関与する必要がある。	
		【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体 事業名		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課 事業名		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	必要経費のみの子算執行で、コストを削減する余地が見当たらない。	
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> 受益者負担	根拠	教材費等以外の参加費の徴収。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	地区公民館を会場とし、地域住民の協力を得て、生活指導者として参加することによって、「地域の子どもは地域で育てる」という意識の醸成、地域の教育力を向上させることが出来る。		

事業に対する市民ニーズが十分にあるかどうかの判断と根拠

行政が関与する必要があるかどうかの判断と根拠

国や県、民間等において、同様の事業が行われていないか

本市の事務事業の中に目的・概要が類似したものがないかどうか

事業に関する経費について、成果を低下させずに削減する余地があるかどうかの判断と根拠

事業の財源について、現在以上に特定財源を確保する方法があるかどうかの判断と根拠

ACTION	【平成27年度 取組み】	維持	【平成28年度 方向性】	維持
	平成27年度取組み	今年の取組み8地区で1~2泊の共同生活体験を実施した。多くの地域ボランティアの協力により、避難所体験など各種体験活動や日常の生活体験を通して、地域の人と交流と簡単な生活習慣習得のきっかけづくりにつながった。	平成28年度計画	できるだけ多くの地域で実行委員会を設置し、事業実施を進める。地域、学校の協力のもと、公募や各種団体を通してより多くの地域ボランティアの参加を促す。また、これまでの地域の特色を活かした取り組みとともに、ふるさとを知り親しみ内容や子どもたちによる企画も取り入れていく。

事業の目的達成に向けて、現在の水準以上に向上させる余地があるかどうかの判断と根拠

【H28提案型市民主役オープン事業実施】	不可能					〈不可能選択理由〉
年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	その他
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施		

平成28年度の方性 (内部評価)
「事務改善」「内容拡大」「内容縮小」「維持」「終了」「廃止・休止」「統合」から選択

外部評価結果

提案型市民主役事業として実施選択と取組状況

【平成28年度 方向性】	維持
委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアで成り立っている事業だが、ボランティアの負担が大きいことや地域間で温度差があるように思われる。事業の継続性を保つためには、ボランティアと関係者に対して啓発を行うことや、ボランティアの意識向上や新たな参加者の開拓など工夫が必要である。 ・今後、国、県の補助費が無くなった場合、独自の財源確保について検討すべきである。 ・社会学連携という観点から、各実行委員会で作成し、学校へのフィードバックを行うことによって、学校としての事業のとらえ方を把握しておくことも必要である。

外部評価委員による主な意見

平成28年度の方性 (外部評価)
「事務改善」「内容拡大」「内容縮小」「維持」「廃止・休止」から選択

平成27年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	公民館合宿通学事業	事業コード	2244
-----	-----------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	2041
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)	813	

PLAN(計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	様々な地域資源を活用して、放課後や週末等における子どもの活動支援や生活体験をととした地域の教育力の活性化を図る。				
	概要	地域の公民館に宿泊しながら、親元を離れて共同生活を行い、学校へ通うことにより、地域の人たちの協力により簡単な生活習慣の習得支援や地域住民との交流を深めるとともに、地域の教育力の向上を図る。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託（一部） 地域住民による地区実行委員会に業務を委託する。			

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
	校長会への説明会議	回	目標値	2	2	2	2	2	
			実績値	1	1	1			
	学校への説明会議	回	目標値	10	10	10	10	10	
			実績値	10	9	9			
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
	実施公民館数	館	目標値	10	10	10	10	10	
			実績値	9	9	8			
計算根拠	合宿通学事業を実施した公民館数	達成率(%)	90	90	80				
		ランク	B	B	B				
		実数値							

事業費/千円	区分	H26(2014)	H27(2014)	事業要員	正規職員	0.25	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,747	1,700		臨時・嘱託	0.5		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	1,590			※所要時間			経費区分	物件費
	繰越額	0	0						

平成27年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CIECIC (評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	児童が家庭における基本的な生活習慣を習得することや協調性を学ぶ必要性に対 する市民ニーズがある。
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	公民館を会場として提供することや、夜間管理など市が関与する必要がある。
	効率・効果	【競争】 国、県、または民間のサー ビスと競争している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体 事業名	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課 事業名	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	必要経費のみの予算執行で、コストを削減する余地が見当たらない。
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>	根拠	教材費等以外の参加費の徴収。
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>		根拠	地区公民館を会場とし、地域住民の協力を得て、生活指導者として参加すること によって、「地域の子どもは地域で育てる」という意識の醸成、地域の教育力を 向上させることが出来る。	

ACTION	【平成27年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成28年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成27年度取組み 今年の取組み8地区で1～2泊の共同生活体験を実施 した。多くの地域ボランティアの協力により、避難所体験な ど各種体験活動や日常の生活体験を通して、地域の人 と交流と簡単な生活習慣習得のきっかけづくりにつな がった。	平成28年度計画 できるだけ多くの地域で実行委員会を設置し、事業実 施を進める。地域、学校の協力のもと、公募や各種団体を通してより 多くの地域ボランティアの参加を促す。また、これまでの地域の特色を活かした取り組みと ともに、ふるさとを知り親しむ内容や子どもたちによる 企画も取り入れていく。

【H28提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>	〈不可能選択理由〉 <input type="text" value="その他"/>				
年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	

外部評価結果

【平成28年度 方向性】

委員の意見

- ・ボランティアで成り立っている事業だが、ボランティアの負担が大きいことや地域間で温度差があるように思われる。事業の継続性を保つためには、ボランティアと関係者に対して啓発を行うことや、ボランティアの意識向上や新たな参加者の開拓など工夫が必要である。
- ・今後、国、県の補助費が無くなった場合、独自の財源確保について検討すべきである。
- ・社会学連携という観点から、各実行委員会で報告書を作成し、学校へのフィードバックを行うことによって、学校としての事業のとらえ方を把握しておくことも必要である。

平成27年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	やっしまつり事業交付金	事業コード	1943
-----	-------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	2031
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)	833	
		豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	生涯学習	生涯学習を充実する		生涯学習体制の充実
		「人の増えるまち」づくり	健康と長寿の推進	生涯学習		

PLAN(計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ふれあいの里づくりを醸成するため、“やっしまつり”をとおして地域の活性化を図る。 ・かけがえないわが街、鯖江を活性化するために昭和49年から鯖江市壮年グループ連絡協議会設立記念行事として開催されている“やっしまつり”をふるさと鯖江の伝統芸能の継承と地域のふれあい交流の場として定着させる。				
	概要	やっしまつりの活動費の交付				
	法令根拠					
	実施形態	現在	補助金等交付			
	内容	交付金申請、実績報告書のみの事務。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
	まつりの開催回数			目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
	まつりの参加者		人	目標値	2200	2200	2200	2200	2200
				実績値	2500	2500	2100		
	計算根拠			達成率(%)	113.6	113.6	95.5		
				ランク	A	A	A		
		実数値							

事業費/千円	区分	H26(2014)	H27(2014)	事業委員	正規職員	0.1	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,700	2,700		臨時・嘱託			事業タイプ	単独事業
	決算額	2,700			※所要時間			経費区分	補助費等
	繰越額	0	0						

平成27年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	真夏の鯖江の祭りとして、やっしまつりの市民ニーズがある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	鯖江に伝わる伝統踊りの継承と町おこしを目的とした活動であり、市の関与によ り活動を補助することは必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	まつりの参加・観客数の増加をめざすためには、まつりの内容の精査をしても削 減はむずかしい。			
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	市の単独事業であるため、これ以上は望めない。		
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	まつりの内容を精査し、市民が来たくなる祭りを開催することにより参加者が増 加する。			

ACTION	【平成27年度 取組み】 <input type="checkbox"/> 維持	【平成28年度 方向性】 <input type="checkbox"/> 維持
	平成27年度取組み 市壮年グループ連絡協議会が主管、主たる社会教育等 団体が協賛し、“やっしまつり”を通して地域の活 性化と伝統芸能「やんしきおどり」の継承を図る事業 を支援した。 今年はずいぶん参加を促進し、コンテスト等も実施さ れた。	平成28年度計画 “やっしまつり”を通して地域の活性化と伝統芸能 やんしきおどりの継承を図る事業を支援する。 実行委員会の設置時期を早め、会場と企画内容の充分 な検討と広報周知期間の確保、さらなる子どもの参加 促進を指導する。

【H28提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="checkbox"/> 不可能	〈不可能選択理由〉 <input type="checkbox"/> 団体補助等の特定の相手先への 補助金や交付金事業のため				
年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	

外部評価結果

【平成28年度 方向性】 <input type="checkbox"/> 事務改善
委員の意見 ・活動費がまつりの開催自体に使われており、今のままでは、まつりの発展性が見 込めない。まつりより子どもたちなどやっしまつりの底辺拡大に向けた予算の使わ れ方を考えるべきである。若い人を巻き込むという視点からよさこいと連携を模 索するなどの改善も検討してはどうか。 ・鯖江の伝統的な踊りとして残るのは良いが、鯖江地区だけのまつりとなっている 傾向も認められる。他地区も巻き込むような仕組みを作って、裾野を広げてほし い。 ・まつりの広報、周知ができていない印象がある。実行委員会の立ち上げが遅いと いう意見もあるので、PRの仕方を含め、実行委員会の体制を見直す必要がある。

平成27年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	男女共同参画推進大会（フェスタ）開催事業	事業コード	1009
-----	----------------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	3091
	重点施策体系	安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	男女共同	男女共同参画社会の実現を目指す	男女共同参画の推進	

PLAN(計画)	部署名	女性活力・人権推進室	開始年度	1996	終了年度	9999
	目的	男女共同参画推進に関して、広く意識高揚を図り、機運を盛り上げる。				
	概要	①男女共同参画推進に関する関係者や市民が参加し、男女共同参画推進大会（フェスタ）を開催する。 ②夢みらい館・さばえを男女共同参画の拠点施設としての周知を図るための男女共同参画拠点化フェスタを開催する。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	その他			
	内容	市、さばえ男女共同参画ネットワーク、男女共同参画地域推進委員との協働により実施している。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
	フェスタ開催回数		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
	フェスタの参加者数(H23より女と男輝くフェスタ、夢みらい館・さばえフェスタ 2回開催)		人	目標値	700	700	700	700	700
				実績値	950	900	474		
	計算根拠			達成率(%)	135.7	128.6	67.7		
				ランク	A	A	C		
		実数値							

事業費/千円	区分	H26(2014)	H27(2014)	事業委員	正規職員	0.2	タイプ	会計	一般会計
	予算額	903	758		臨時・嘱託			事業タイプ	単独事業
	決算額	902			※所要時間			経費区分	物件費
	繰越額	0	0						

平成27年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	男女共同参画に対する意識がまだ低く、社会のニーズは大きい。
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	男女共同参画社会の実現は、行政と市民の協働によって達成できるものと判断されることから、市民と協働で行うのが良い。
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体 事業名	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課 事業名	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありませんか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	既に県より事業委託金を交付されているが市全体で配分枠が決められており増額は期待できない。
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	より多くの市民に男女共同参画を理解してもらうために、幅広い市民団体との協働を図る事業を推進する。	

ACTION	【平成27年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成28年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成27年度取組み	①平成26年度以降、さばえ男女共同参画ネットワークが提案型市民主役事業で「女と男輝くさばえフェスタ」を開催するようになってから、各種ワークショップを導入するなどして、新たな年齢層の参加者を含め参加者数が増加している。(参加者数：463名) ②平成27年度からは、夢みらいWeが夢みらい館・さばえの指定管理業務の一環として開催しており、他事業との連携を図るなどの工夫により、新たな参加者を取り込み、参加者増につながった。(参加者数：180名)	平成28年度計画	引き続き、市民団体（さばえ男女共同参画ネットワーク、夢みらいWe等）のノウハウを活かし、実施していきたい。

【H28提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 可能	〈不可能選択理由〉			
年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	

外部評価結果

【平成28年度 方向性】 維持

委員の意見

- ・集客に関して、動員として団体参加の割り当てがあるなど、一般市民の集客がどれぐらいあるか疑問がある。集客の面でもっと努力してほしい。
- ・鯖江市として男女共同参画のビジョンを、指定管理団体と連携して実現する必要がある。目標像としてのビジョンを明確化し、継続をお願いしたい。

平成27年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	さばえ菜花まつり開催事業	事業コード	3183
-----	--------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	1033
	重点施策体系	活力ある産業と賑わいのあるまちづくり	農業	持続性のある農業を確立する	農作物のブランド化と6次産業化の取り組み	

PLAN(計画)	部署名	農林政策課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	鯖江市がブランド化を目指している「さばえ菜花」をより多くの方に見て、食べて、楽しんでいただき、食と農の推進と地産地消の実現に向けた取り組みを行う。また、桜、さばえ菜花、つつじと春の三大花物としての定着を図る。				
	概要	さばえ菜花を使用したなばな食堂、物販、無料体験ブース、菜花クイズラリー、サクラマス放流、ニュースポーツ体験、ミニ電車、ファミリーマレットゴルフ教室、おもしろ自転車体験会ほか				
	法令根拠					
	実施形態	現在	補助金等交付			
	内容	市民や関係団体から構成される実行委員会により実施する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
	実行委員会の会議開催回数		回	目標値	4	4	5	5	5
				実績値	4	4	5		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
	2日間の来場者数		人	目標値	10000	10000	10000	10000	10000
				実績値	17000	9000	11000		
	計算根拠	来場者数		達成率(%)	170	90	110		
				ランク	A	B	A		
			実数値						

事業費/千円	区分	H26(2014)	H27(2014)	事業委員	正規職員	0.25	タイプ	会計	一般会計
	予算額	3,000	3,000		臨時・嘱託			事業タイプ	単独事業
	決算額	3,000			※所要時間			経費区分	物件費
	繰越額		0						

平成27年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	さばえ菜花の美しい風景の中で開催されるイベントとして住民等のニーズは十分に ある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市民等からなる実行委員会から、多彩な企画案を行政が実施に向けて取り組んで いる。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	電気、水、トイレのない日野川河川敷での開催のため、機材等が必要となり、今 以上のコスト削減の余地はない。	
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>	根拠	今以上に財源を確保する方法はない。出展者から出展料を徴収しているが、今以 上の増額は出展者数を減らす可能性あり。	
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>		根拠	市民への周知を強化し、魅力ある企画内容につとめ今以上に成果を向上させる。		

ACTION	【平成27年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成28年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成27年度取組み 市職員が実行委員会の事務局をし、実行委員会で審議した内容でまつりの開催を行っている。さばえ菜花をキーワードに、なばな食堂や各種催し物を開催し、食育・地産地消の推進を行っている。	平成28年度計画 平成28年度も実行委員会方式で行うが、平成29年度開催分については、提案型市民役事業として市民団体が受託予定。

【H28提案型市民役オープン事業実施】 <input type="text" value="可能"/>	〈不可能選択理由〉 <input type="text" value="0"/>				
年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	

外部評価結果

【平成28年度 方向性】

委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業、イベントとの連携を模索してほしい。 ・堤防に菜花を植えるという点について、種の管理と安定性のチェック、さらに生態系への影響という観点から植物の専門家の意見を取り入れることが必要である。
-------	--

平成27年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	日野川砂礫河原再生事業	事業コード	3061
-----	-------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	5051
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)	722	

PLAN(計画)	部署名	土木課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	日野川河川敷は鯖江百景であり市民にも親しまれる憩いの場であるが、近年、ダムの建設などに伴う洪水の発生頻度の低下により、河原に土砂が堆積し、砂州の樹林化や水生生物の減少など影響が出ている。砂州の切下げ等により、冠水頻度を向上させ自然の営力により砂礫河原を再生し、優れた河川景観を創出する。 中長期的に市民による川の利用促進、砂礫河原再生状況や水辺空間の安全確認の為、川を使った体験型イベントを実施し、川への興味関心を深めることにより河川愛護活動の活発化につなげ、鯖江のまちづくりの魅力向上を図る。				
	概要	砂礫河原再生：砂礫河原化検討調査、砂州の切下げ・掻き起し、みお筋造成、樹木伐採 親水体験（学ぼう！遊ぼう！河原へGO！）：川流れ体験、鮎釣り、水質・水生生物調査、ボート体験				
	法令根拠					
実施形態	現在	民間等委託（一部）				
	内容	親水空間の整備等は工事で発注し、川遊びの普及は市民団体等との協働で行う。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
	イベント参加チラシ配布による周知（市内小学校児童）		枚	目標値	-	2800	2800	2800	2800
				実績値	-	2800	2800		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
	砂礫河原の再生面積		㎡	目標値	1500	3000	3000	3000	3000
				実績値	1680	6200	6200		
	計算根拠	水路延長 210m×8m（H24はみお筋造成面積）H25～は表土切り下げ面積		達成率（%）	112	207	207		
				ランク	A	A	A		
			実数値						
イベント参加者数		人	目標値	-	60	40	40	40	
			実績値	-	85	57			
計算根拠			達成率（%）	-	142	143			
			ランク	A	A	A			
			実数値						

事業費／千円	区分	H26(2014)	H27(2014)	事業要員	正規職員		タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,300	1,200		臨時・嘱託			事業タイプ	単独事業
	決算額	1,237			※所要時間	50		経費区分	普通建設事業費
	繰越額	0	0						

平成27年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	河川公園として整備され、河川草刈、清掃や菜花植栽など、多様な市民活動が行われており、環境整備への市民のニーズは高い。
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	河川工事は、市民活動による整備は期待できないため、行政が実施すべきである。親水体験活動については、市民団体や関係団体との協働について検討していく。
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体 事業名	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課 事業名	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	補助事業のメニューがない。
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある		根拠	市民に対し周知し参加者を増やし、さらなる川の利用促進・水難事故防止に繋げる。	

ACTION	【平成27年度 取組み】 <input type="checkbox"/> 維持	【平成28年度 方向性】 <input type="checkbox"/> 維持
	平成27年度取組み 土砂の堆積による植生の進入に伴う雑草の繁茂化した中州を切り下げ、中小洪水時に洪水かく乱させることにより、砂礫河原を再生する。あわせて、川を使った体験型イベントを実施する。本年度は57名が参加し、川流れ体験、鮎釣り、ボート体験、生物調査等を実施した。	平成28年度計画 砂礫河原再生の検討調査および砂礫河原の拡大を図る。また、イベントの安全管理者の増員等により応募人数を増やしイベントの拡大を図り、さらなる川の利用促進、水難事故防止の啓発を行う。

【H28提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="checkbox"/> 不可能	〈不可能選択理由〉 建設・用地取得にかかる投資的経費（普通建設事業費）のため																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24(2012)</th> <th>H25(2013)</th> <th>H26(2014)</th> <th>H27(2015)</th> <th>H28(2016)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取組選択</td> <td>不可能</td> <td>不可能</td> <td>不可能</td> <td>不可能</td> <td>不可能</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施		
年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)														
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能														
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施															

外部評価結果

【平成28年度 方向性】 事務改善

委員の意見

- ・日野川の優れた河川景観を知るといふ本来の目的が、子どもたちにしっかり伝わってないように思われる。事業を継続する場合はミニレクチャーなどを通して、事前に知ってもらってから川で体験してもらうなどの工夫が必要である。日野川に親しむという点で、年間を通しての事業展開はどうか。
- ・イベント自体は、ふるさとの川を知ってもらうという要素はあるものの、砂礫河原の再生とは特に関連性がないように思う。砂礫河原の再生は治水事業として、イベントと切り離して行うことも検討する必要がある。

平成27年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	2K540鯖江ものづくりいいもの見本市	事業コード	3029
-----	---------------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	1021
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)		711

PLAN(計画)	部署名	商工政策課		開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	首都圏でものづくりのまち鯖江、職人のまち鯖江をPRすることにより、鯖江の認知度、イメージアップを図り、消費者の購買、鯖江への誘客へとつなげる。					
	概要	首都圏でものづくりのまち鯖江、職人のまち鯖江をPRすることにより、鯖江の認知度、イメージアップを図り、消費者の購買、鯖江への誘客へとつなげる。JR御徒町高架下の「ものづくり」をテーマにした施設2K540のイベントスペースで、鯖江の地場産業である眼鏡・繊維・漆器について1週間にわたりPRする。職人が作り上げた製品の展示、職人による実演を行うほか、来場者がものづくり体験を行うコーナーを設け、ものづくりの楽しさ、難しさを肌で感じてもらう参加型のイベントにする。					
	法令根拠						
	実施形態	現在	市直営				

内容	イベント企画、会場設営・装飾、告知用チラシ、ポスター、ホームページの作成
----	--------------------------------------

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
	イベントに参加する眼鏡・繊維・漆器の各団体・企業数		社	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	7	6	6		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
	来場者人数		人	目標値	2000	2500	3000	3500	4000
				実績値	2000	2200	3600		
	計算根拠			達成率(%)	100	88	120		
				ランク	A	B	A		
実数値									

事業費/千円	区分	H26(2014)	H27(2014)	事業委員	正規職員	0.3	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,399	1,253		臨時・嘱託			事業タイプ	単独事業
	決算額	1,337			※所要時間	0		経費区分	物件費
	繰越額	0	0						

平成27年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

C HECK (評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	首都圏でのイベントであり、鯖江の地場産業のPRを行うことは、業界団体にとって大切な取り組みでありニーズはある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	鯖江の産業全体のPR事業であるため、市のイメージ向上につながるので、市が取り組むのが望ましい。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	事業名		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	市直営であり、職員の創意工夫のもと行っているイベントであり、これ以上の削減は事業の質の低下につながる。	
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	国・県等の補助制度が無いため。	
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>		根拠	事前告知の徹底、展示・ワークショップの内容の見直しなどで入場者を増やすことが可能。		

A CTION	【平成27年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成28年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成27年度取組み 平成27年10月31日～11月2日に開催した。鯖江市のものづくり産業のPRとして、職人の体験・実演を実施した。また、眼鏡・繊維・漆器・木製品等の鯖江市を代表する商品の物販も行った。来場者は3日間で約4,000人であり、前年に引き続いての来場者も見受けられ継続してきた成果を感じられた。	平成28年度計画 体験内容・物販の内容の充実を図ることにより、集客をより増やす。また、事前の告知を徹底させることにより、集客を増やす。

【H28提案型市民役オープン事業実施】 <input type="text" value="可能"/>	〈不可能選択理由〉 <input type="text"/>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24(2012)</th> <th>H25(2013)</th> <th>H26(2014)</th> <th>H27(2015)</th> <th>H28(2016)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取組選択</td> <td>不可能</td> <td>可能</td> <td>可能</td> <td>可能</td> <td>可能</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	取組選択	不可能	可能	可能	可能	可能	実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施		
年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)														
取組選択	不可能	可能	可能	可能	可能														
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施															

外部評価結果

【平成28年度 方向性】 <input type="text" value="内容拡大"/>
委員の意見 ・来場者や体験参加者に関して、外国人やリピーターがいるとのことだが、アンケート等を実施していない。意義あるイベントなので、今後の拡大も視野に入れて実態の把握に努めてほしい。 ・北陸新幹線開通、福井国体開催を見据えて、エリアで連携して事業を行い、鯖江のブランド化を進めることが大切である。今後も長期的に産地情報の発信を行うほか、産官連携の観点から、イベントでの出店者から負担金を徴収するなど、事業戦略を進めてもらいたい。

資料編

鯖江市行政評価委員会の開催経過

会議	開催日	内容
第1回	平成27年12月26日(土) 9:00～ 第2委員会室	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長および副委員長の選出 ・鯖江市の行政評価制度の概要 ・外部評価の実施手順 ・評価対象事務事業の抽出 【外部評価の実践（6事務事業）】 ・公民館合宿通学事業 ・やしきまつり事業交付金 ・男女共同参画推進大会（フェスタ）開催事業 ・さばえ菜花まつり開催事業 ・日野川砂礫河原再生事業 ・2K540 鯖江ものづくりいいもの見本市
	平成28年1月13日(水) 13:30～ 市長室	<ul style="list-style-type: none"> ・市長報告

鯖江市行政評価委員会委員名簿

氏名		役職等
井上 武史	○	福井県立大学 地域経済研究所 准教授 鯖江市総合戦略推進会議委員 鯖江市第5次総合計画審議会委員
齋藤 英子		鯖江市農業委員会委員 福井丹南農業協同組合女性部部長 鯖江市第5次総合計画審議会委員
鈴木 早苗		鯖江市第5次総合計画審議会委員 市民主役条例推進委員会委員
園 昇		鯖江商工会議所青年部副会長
高田 健一郎		市民協働推進会議委員 市民主役条例推進委員会委員
武井 幸久	◎	福井工業高等専門学校 環境都市工学科 嘱託教授 鯖江市第5次総合計画審議会委員
細田 逸子		市民主役条例推進委員会委員 提案型市民主役事業化制度審査委員会委員

(50音順：◎委員長 ○副委員長)

鯖江市行政評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 鯖江市が行う行政評価について、客観性および透明性を高めるため、鯖江市行政評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 庁内組織による内部評価結果に関して調査および審議を行い、意見を述べること。
- (2) 行政評価制度の推進に関して意見を述べること。

(組織)

第3条 委員会は、委員10人以内で組織する。

- 2 委員は、市民、学識経験者のうちから市長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、1年以内とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長および副委員長)

第5条 委員会に、委員長および副委員長各1人を置く。

- 2 委員長および副委員長は、委員の互選により定める。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときまたは委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員長が必要と認めるときは、関係者の出席または資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、政策経営部秘書広報課地方創生戦略室において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか委員会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成19年7月11日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。